

授業に対する受講者の評価・反応

調査概要

調査目的

本事業における若年層向け授業、および教材として用いる制作物について、より効果的かつ受容性の高いものとするべく、実際にモデル授業を受講した学生へのアンケートを通じ、今後の改善に役立つような示唆を得る。

調査概要

- 受講生向けアンケート
調査サンプル数：計459サンプル

実施校	実施日時	サンプル数
東京都立蒲田高等学校	15/1/14(水)	27s
大妻女子大学	15/1/16(金)	37s
千葉県立薬園台高校	15/1/28(水)	264s
神奈川県立横浜青陵高校	15/1/29(木)	63s
神奈川県立海洋科学高校	15/1/30(金)	37s
流通経済大学	15/2/12(木)	23s
東京都立杉並総合高校	15/2/16(月)	8s

赤字：モデル事業 黒字：準モデル事業

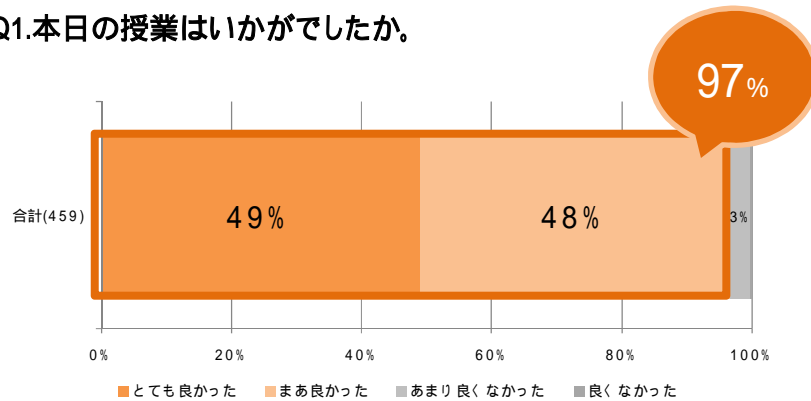
設問項目

- 受講生向けアンケート
 - ・授業や教材の満足度・理解度
 - ・授業内容の感想 など

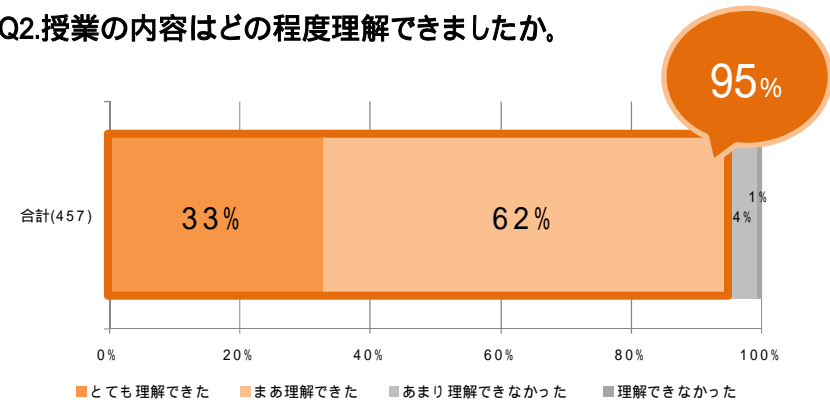
アンケート結果:授業の満足度・理解度/教材・動画のわかりやすさ

- 授業の満足度は97%。およそ半数が、「とても良かった」と回答。
- 授業の理解度は95%。30%以上が、「とても理解できた」と回答。
- 教材について、96%が、「とてもわかりやすかった」「まあわかりやすかった」と回答。
- 動画について、94%が、「とてもわかりやすかった」「まあわかりやすかった」と回答。

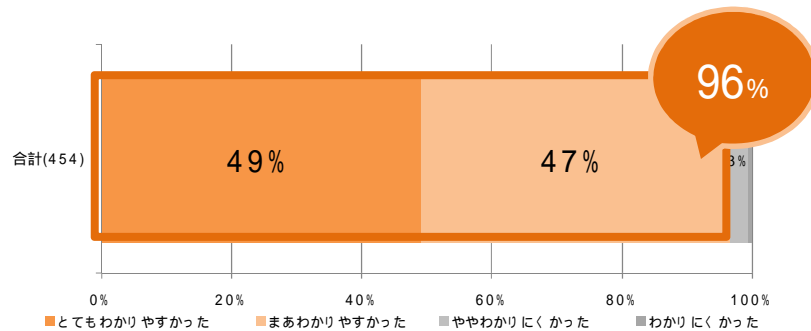
Q1.本日の授業はいかがでしたか。



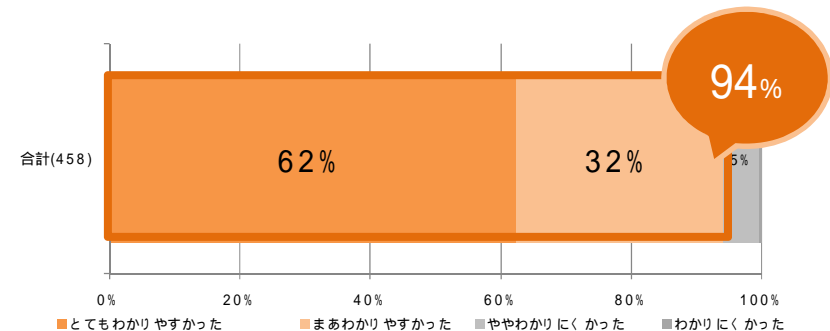
Q2.授業の内容はどの程度理解できましたか。



Q4.授業で使用した教材は、わかりやすかったですか。



Q5.授業で使用した動画は、わかりやすかったですか。



アンケート結果:授業で理解できた点 / 動画の感想(自由回答)

青字:男性 赤字:女性

Q3.本日の授業で公的年金について理解できた点を、ご自由にお答えください。

高校では、今、そして未来の自分にとっての年金の必要性に関する感想が多くを占めた。一方大学では、年金を払うことへのメリット・デメリットに関する感想が多い傾向。またどちらでも、障害年金や遺族年金の存在が新鮮だったという感想が多かった。

年金の必要性について

- 年金が必要なこと、年金を払ったほうがいいこと(海洋高校)
- 絶対将来役に立つとわかりました(大妻女子大学)
- 自身の事だけではなく家族ができた時により必要(流通経済大学)

老齢年金以外の年金について

- 年金は老後だけではなく近い将来受け取るかもしれない(海洋高校)
- 「年金」といっても様々な種類があり、老後のみならず、生涯のいろいろな場面で役立つ可能性があるということが、非常によくわかりました(大妻女子大学)
- 将来必要だから払うとは思ってたけど、今も何かしらの保障があるのは驚いた(青陵高校)

年金のメリット・デメリットについて

- 年金を払えばいつかいいことがあると思った(海洋高校)
- 消費税を支払う時に年金として戻ってくるという感覚がなかったので知れて良かった(大妻女子大学)

年金の仕組み・制度について

- 20歳になると国民年金に加入しなければならないこと(蒲田高校)
- 私達にもみえる消費税が年金の半分を占めていたこと(薬円台高校)
- 今の私たちが高齢者を支え、私たちが高齢になった時未来の若者に支えられること(薬円台高校)
- 保険料免除制度や学生納付特例があることを初めて知った(流通経済大学)

Q6.動画をご覧になって印象に残った内容や感じたことをお答えください。

桃太郎の物語になぞらえた解説は全体的に好評。「分かりやすい」という声とあわせ、女性のなかでは「かわいい」という感想が多くを占めた。また財産の差し押さえなどを恐れる声も多く、年金を払わないリスクについての恐怖訴求も効果的だったことが見受けられる。

桃太郎について

- 桃太郎の話を使ったのが分かりやすかった(蒲田高校)
- 内容がまとまって桃太郎を例えに出しててわかりやすかった(大妻女子大学)
- 桃太郎とキビ団子を信用してみようと思った(薬円台高校)
- 猿の考えた「なくなるのか?」という考えに共感していたから、税金があるからなくなるためホッとした(青陵高校)

分かりやすさ・親しみやすさについて

- 分かりやすく説明されていた(蒲田高校)
- 全体的に分かりやすく楽しかった(海洋高校)
- 口頭の説明だけでなく、その話した内容を動画によって図解のような形で説明されるため、理解がスムーズでした(大妻女子大学)
- 音楽やイラストも明るい感じで楽しく理解できた(薬円台高校)

年金を払わないことのデメリットについて

- 年金を納めないとし差し押さえもあるかもしれないというのを見て、不安に思った(蒲田高校)
- 年金を払わない人は結果、損をしていること。老後、多くのお金を必要としていること(薬円台高校)

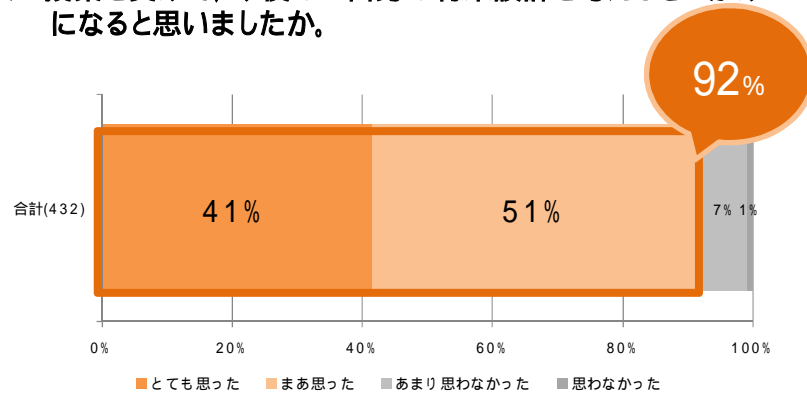
今後の改善に繋がる意見

- 内容はよかったが、内容の進みが速いと感じた。もう少し進行やしゃべりの速度を落とした方が良いと思う(蒲田高校)
- 桃太郎に関するそれぞれの役割は先に解説してほしかった(海洋高校)
- 桃太郎 = 日本、キビ団子 = 年金の例えは、家父長的・恩恵的なイメージが強すぎて社会保険方式の公的年金の例えとしてはやや疑問(流通経済大学)

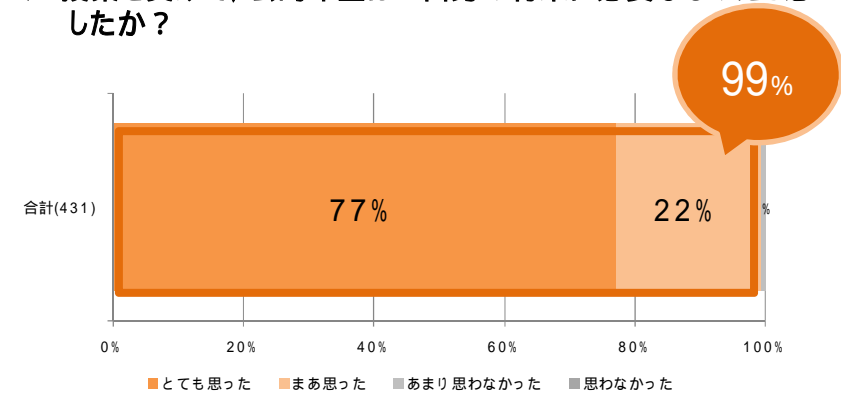
アンケート結果：将来設計・公的年金の必要性について/納付意義・財産差し押さえに関する理解度

- ・「自身の将来設計を考えるきっかけになった」と回答したのは92%。
- ・全体の99%が「公的年金は自身の将来に必要なものだ」と回答。
- ・全体の98%が、「保険料納付は一生のリスクに備えるものという理解できた」と回答。
- ・全体の98%が、「未納の場合は財産等の差し押さえがあることを理解できた」と回答。

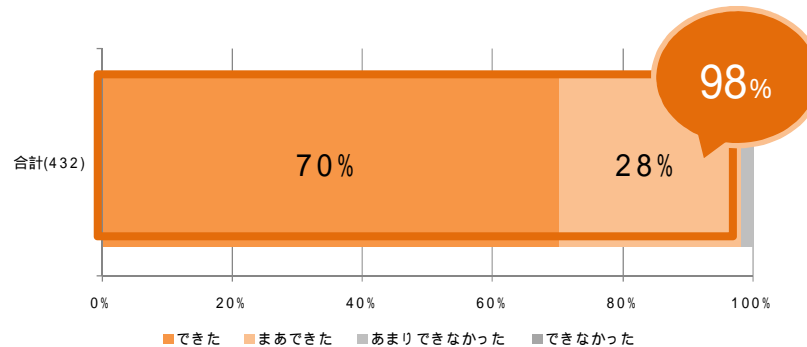
Q8. 授業を受けて、今後のご自身の将来設計を考えるきっかけになると感じましたか？



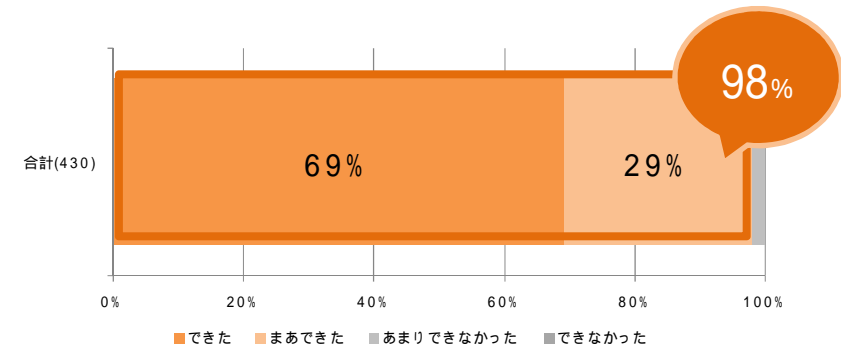
Q9. 授業を受けて、公的年金はご自身の将来に必要なものだと思いますか？



Q10. 授業を受けて、保険料を納付する意義は老後だけでなく一生のリスクに備えるものだという理解できましたか？



Q11. 授業を受けて、未納の場合は財産等の差し押さえがあることを理解できましたか？



アンケート結果: ライフイベントシミュレーション・申請書記入の感想(自由回答)

青字: 男性 赤字: 女性

Q7. ライフイベントシミュレーションや申請書を記入してみて感じたことをお答えください。

- ライフイベントシミュレーションについては、高校の方がポジティブな感想が多い。一方、将来かかるお金への不安は、高校・大学どちらの学生からも寄せられた。
- 申請書記入については、「難しい」という声も多くあったものの、「実際に記入してみて自分事になった」という感想もみられた。

ライフイベントシミュレーション

自分の将来について

- 自分の将来と向き合うのは大切なことだと思った(蒲田高校)
- 今後の生活・お金に関してのことを考える良い機会になりました(海洋高校)
- 定年退職してからの人生は長いんだと感じた(大妻女子大学)
- 計画することでそれにあった生活を築けると思った(薬台台高校)
- 将来のことを真剣に考えようと感じた。また老後の受け取ることでできる年金額も知ることができた(流通経済大学)
- 今から大学に入って就職して結婚して…などを考えていて、あまりにも遠すぎる話だったので、実感がわかなかった。あと、生活費の事を初めて考えたので、知らないことばかりで新鮮でした(杉並高校)

将来への不安について

- 働いている間はなんとかなるけど仕事をやめてからの不安が多いことも知った(蒲田高校)
- こんなにうまくいくのか心配になった(海洋高校)
- 自分の将来のことを考えると意外とお金がかかると分かった(大妻女子大学)
- 自分の将来したいことはたくさんあるけれども、実際、年齢や生活など色々と厳しいと思った(薬台台高校)
- いくつで結婚するとか、家を買うとかを正直考えていなかったので少し焦ってしまった(青陵高校)
- まだ自分の将来設計が曖昧であり、軽く考えすぎているのかと感じました(流通経済大学)

申請書記入 蒲田高校・海洋高校でのみ聴取

難しいという意見

- 書く項目だったり、所々の単語の意味が分からなかったです(蒲田高校)
- 実際に書こうとすると時間がかかると思う(海洋高校)
- 本当に書くときはしっかりと相談した方がいいなと思いました(薬台台高校)
- ちょっと難しそうだけど、これで(納付を)待ってもらえるんだったら絶対書いた方がいいと思いました(杉並高校)

簡単だという意見

- めんどくさがる人がいると言っていたからすごいたくさん書くだらうなと思っていただけ、かんたんに書けた(蒲田高校)
- 思ったより記入するところがなかった(海洋高校)

自分事になったという意見

- 自分は進学するから、アルバイトしてても払えない時などもある時に申請書の書き方を今のうちに学べてよかった(蒲田高校)
- 自分もいつかは本物を書く日が来るんだなと思いました(蒲田高校)
- 難しく感じたが、これは書かないといけないものであり、大切なことだと思った(薬台台高校)
- 大人に近づいた気がした(薬台台高校)
- おそらく親が申請していたので、初めて申請書に触れた(流通経済大学)

アンケート結果：今後の納付・免除申請意向/年金について更に知りたいこと(自由回答)

青字：男性 赤字：女性

Q13. Q12 でお答えになった理由を、どのようなことでも構いませんのでお聞かせください。

Q12:授業を受けて、保険料を納付したり、(納付が困難なときは)免除や猶予の申請をしたいと思いましたが？

全体的に、授業を踏まえたうえで自分の将来のために納付、もしくは申請をしたいという意見となった。
その一方で、年金を払うことのメリットよりも、差し押さえなどの未納によるデメリットの方に重きを置く意見もみられた。

自分や将来のために納付や免除・申請をしたい

- めんどくさがっていると、自分の老後の時にもっと大変なことになるからやっておきたいと思った(蒲田高校)
- 将来の為に少しでも役立つことはしておきたいから(大妻女子大学)
- 年金の大事さがわかったから(海洋高校)
- 人生何が起こるかはわからないので、そのことを考えると納付・申請を、必須であると思った(薬円台高校)
- 自分自身のためと、自分がそうすることで他の人でも、やる人が増えると思うから(流通経済大学)
- 年金がないと最低限の生活ができないのではないかと感じた。目先のことだけを考えるのではなく、老後のことを考えてしっかり保険料を払うべきだと思う(流通経済大学)

年金未納によるデメリットを避けたい

- 前テレビで差し押さえの番組をみて恐ろしかったから(海洋高校)
- 損したくない(大妻女子大学)
- 一応払っておかないと法律違反になるから(青陵高校)
- 保険料を払わないよりも払った方がメリットがあることを学んで、将来自分に何かあった時に大変な思いをしたくないから(杉並高校)
- 未納とされて差し押さえられるのも困るから(薬円台高校)

Q14.公的年金についてもっと詳しく知りたいことはありますか。ご自由にお答えください。

世代間で年金の納付額や受給額に違いがあるのかなど、年金問題への不安を解決したいと思われる意見があった。
また、年金のマイナスイメージについて知ることで、より年金への理解を深めたいという回答もみられた。

年金問題について

- 年金を払う方はお金を払う量が増えるのか(蒲田高校)
- 受給対象年齢は我々の世代では何歳まで引き上げられるのか(薬円台高校)
- メディアで騒がれる年金不足の原因はやはり少子高齢化なのでしょうか？(薬円台高校)
- 私たちが65歳以上になったとき、きっと支えてくれる年代の人は今より減ると思うのですが、今老齢年金をもらっている人と同じくらい受け取れるんでしょうか(杉並高校)

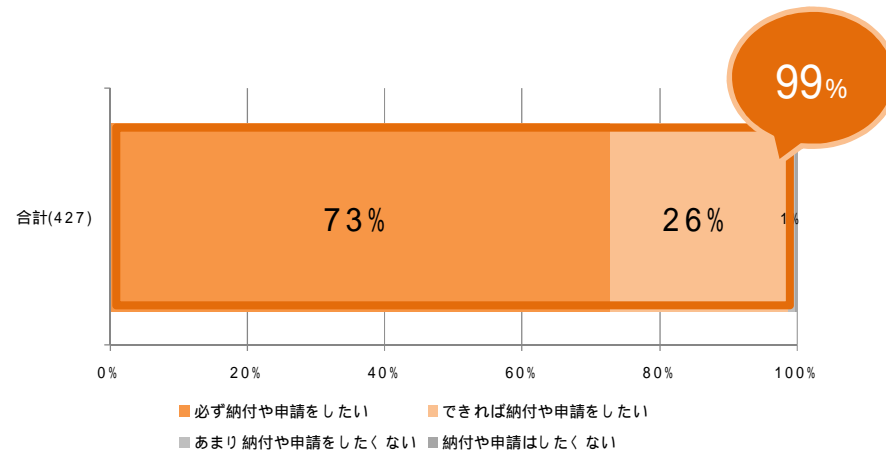
年金を払うこと、もしくは年金未納によるデメリットを知りたい

- メリットはわかったのですが、デメリットを知りたかった(杉並高校)
- この授業を受けても、将来を軽く考える若者もいえるかもしれないため、もし長期間滞納したらどういう状況に置かれてしまうかを具体的な例をあげてしっかり考えさせることも大切だと思う(流通経済大学)
- どうしたら差し押さえになるのか(薬円台高校)

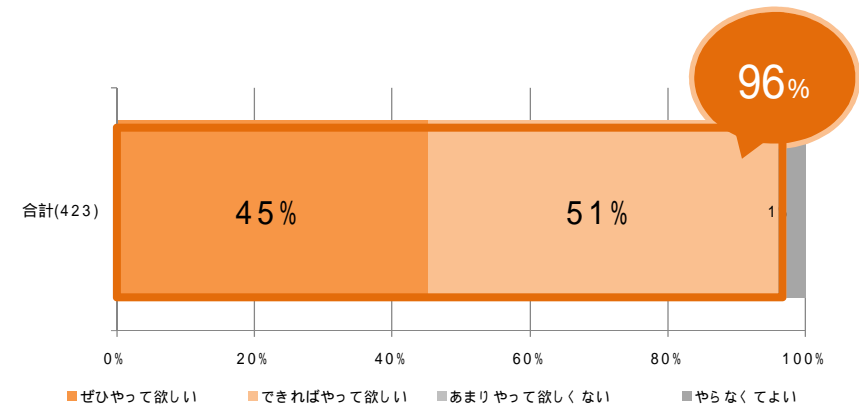
アンケート結果：今後の納付・免除申請意向/今後の授業実施について

- 保険料の納付、免除・猶予申請の意向度は99%。
- 全体の96%が、自身の後輩に来年度もこの授業を実施してほしいと回答。

Q12.授業を受けて、保険料を納付したり、(納付が困難なときは)免除や猶予の申請をしたいと思いますか？



Q15.ご自身の後輩のために、来年度もこの授業をやって欲しいと思いますか？



【参考】モデル事業について

モデル事業実施概要

	高等学校	大学
実施目的	本モデル事業で制作している制作物を実際の高校・大学でモデル実施し、その講演内容に関してアンケートを実施し、今後の制作物の修正点を明らかにする。	
実施校	東京都立蒲田高等学校	大妻女子大学
実施日	2015年1月14日(水)	2015年1月16日(金)
実施時間	2限(9:40～10:30)+3限(10:40～11:30) 計100分 10分間の休憩挟む	1限 計90分
講師	東京都立蒲田高等学校 教諭(公民科) 浅川 貴広 氏	東進ハイスクール 講師(政治経済) 清水 雅博 氏
実施内容	・教材(ワークシート、VTR)を活用した講義 ・講義に関するアンケート	



準モデル事業実施状況（厚生労働省及び日本年金機構が実施）

- ・厚生労働省及び日本年金機構が本モデル事業で制作している教材を使用し、準モデル事業として高校・大学で授業を行っているところ。
- ・日本年金機構が地域年金展開事業における年金セミナーで培ってきたノウハウを活かしながら、モデル事業の教材が使用できるようワークシート・動画以外に副教材も作成。

実施校	実施日時	講師
千葉県立薬園台高校	平成27年1月28日	厚生労働省及び日本年金機構
神奈川県立横浜青陵高校	平成27年1月29日	日本年金機構
神奈川県立海洋科学高校	平成27年1月30日	厚生労働省
流通経済大学	平成27年2月12日	日本年金機構
東京都立杉並総合高校	平成27年2月16日	日本年金機構
千葉県立安房拓心高校	平成27年3月20日	厚生労働省

【横浜青陵高校での授業風景】

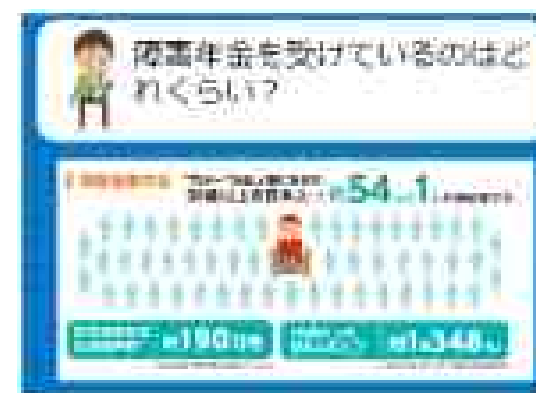


【薬園台高校での授業風景】



- ・神奈川県立海洋科学高校などでは、これまで本事業で検討している市町村用パンフレットを活用した副教材を使用することにより、受講者の属性に合わせた講演をモデル的に実施した。
- ・このモデル授業では、より効果的なグループワークを行う観点から、同校の担当の先生のご協力を得て、先生にグループワークにご参加いただいた。
担当の先生が各グループと意見交換することにより、厚生労働省や日本年金機構の担当者が初めてそのクラスで講演を行っても、活発なディスカッションを行うことができた。

【副教材例2】 本事業で検討している市町村用パンフレットを活用した例



【海洋科学高校の授業風景】



担当の先生がグループワークに参加している風景



日本年金機構職員とチームティーチングをしている風景